

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 日産栃木自動車大学校
設置者名	学校法人 日産学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/infomation.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/infomation.html
財産目録	https://www.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/infomation.html
事業報告書	https://www.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/infomation.html
監事による監査報告（書）	https://www.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/infomation.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報（自動車整備科）

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	自動車整備科		○	-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	67	32		35		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
130 人		134 人	74 人	18 人	0 人	18 人	
(備考) (任意記載事項)							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする

1年次：910時間

2年次：891時間

の専門教育を行う

各科目の単位は、学科15時間、実習30時間をそれぞれ1単位とする

成績評価の基準・方法
（概要） 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められない。可否の判定は下記「判定基準」により行う。 1）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とする。 2）学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とする。 ※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とする 3）成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められる。 ※優：80点以上 良：60点以上 可：60点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められる
修了・進級の認定基準
（概要） 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している
学修支援等
（概要） クラス担任制を取り、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
77 人 （ 100% ）	3 人 （ 3.9% ）	69 人 （ 89.6% ）	5 人 （ 6.5% ）
（主な就職、業界等） 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ			
（就職指導内容） 企業ガイダンス開催、会社訪問調整、採用担当者とのミーティング、カウンセリングなど			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2級自動車整備士（総合）、日産整備士3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80 人	3 人	3.8 %
（中途退学の主な理由） 本人死亡、学費未納、メンタル不調		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

①学科等の情報（一級自動車工学科）

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	一級自動車工学科		-	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	132	64		68		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人		174 人	4 人	23 人	0 人	23 人	
(備考) (任意記載事項)							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする 1年次：910時間 2年次：891時間 3年時：868時間 4年時：968時間 の専門教育を行う 各科目の単位は、学科15時間、実習30時間をそれぞれ1単位とする
成績評価の基準・方法
(概要) 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められない。可否の判定は下記「判定基準」により行う。 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とする。 2) 学科、実習共に成績得点が70点以上を合格とする。 ※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とする 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められる。 ※優：80点以上 良：70点以上 可：70点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められる
修了・進級の認定基準
(概要) 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している
学修支援等
(概要) クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39 人 (100%)	2 人 (5.1%)	37 人 (94.9%)	0 人 (0.0%)

(主な就職、業界等) 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ
(就職指導内容) 企業ガイダンス開催、会社訪問調整、採用担当者とのミーティング、カウンセリングなど
(主な学修成果(資格・検定等)) 2級自動車整備士(総合)、一級小型自動車整備士、日産整備士3級・2級、日産テクニカルアドバイザー3級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39	0	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
自動車整備科	240,000 円	642,000 円	670,000 円	実験実習費：200,000 円、施設設備費：230,000円、学生諸費預り金：240,000円
一級自動車工学科	240,000 円	642,000 円	670,000 円	実験実習費：200,000 円、施設設備費：230,000円、学生諸費預り金：240,000円
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/infomation.html		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校の実施する自己点検評価に対し、学校関係者による「学校関係者評価委員会」を設けて外部評価を実施し、学校運営の継続的改善を図る。 ・主な評価項目：教育活動、学修成果、就職等の学生支援、学生募集、財務、等 ・評価委員会の構成：委員定数は最低3名。少なくとも①関係企業等、②業界団体等、③卒業生、の各分野から1名を選任。 ・評価結果の活用：6月迄に前年度を対象に評価を受け、当年度の活動で、その改善方策を実施する。総責任者は校長		
第三関係者評価の委員（学校関係者評価の委員）		
所属	任期	種別
一般社団法人栃木県自動車整備振興会 教育技術部 次長	令和7年4月1日～令和8年3月31日 (毎年度初めに継続を確認)	業界団体代表
栃木日産自動車販売株式会社 営業本部 執行役員	令和7年4月1日～令和8年3月31日 (毎年度初めに継続を確認)	卒業生代表
日産プリンス栃木販売株式会社 営業本部 次長	令和7年4月1日～令和8年3月31日 (毎年度初めに継続を確認)	企業代表
上三川町 総務課長	令和7年4月1日～令和8年3月31日 (毎年度初めに継続を確認)	地域団体代表
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/infomation.html		
(備考)		
現時点では第三者の評価を受ける体制はないが、全国自動車大学校・整備専門学校協会が実施団体になった場合は評価を依頼する予定		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.nissan-gakuen.ac.jp/tochigi/

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「一」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H109310000373
学校名（〇〇大学 等）	専門学校 日産栃木自動車大学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 日産学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		114人（44）人	104人（39）人	218人（83）人
内 訳	第Ⅰ区分	25人	26人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅱ区分	18人	17人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅲ区分	16人	14人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	25人	22人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	13人	一人	
	区分外（多子世帯）	17人	16人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				218人（83）人
（備考）				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	0人	前半期	後半期
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	—	0人
計	0人	一人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。